

ベトナム株ファンド 足元軟調も、上昇相場が期待できるベトナム市場

2019年1月21日

お伝えしたいポイント

- ・ 2018年10月以降のベトナム株式市況は、不安定な外部環境から軟調な展開が継続
- ・ ファンダメンタルズが堅調な中、株式への投資妙味は増加
- ・ 上昇相場を期待させる3つのポジティブ材料

2018年10月以降のベトナム株式市況は、不安定な外部環境から軟調な展開が継続

2018年10月以降のベトナム株式市況は、不安定な外部環境を背景に軟調な展開が継続しました。

10月は米国長期金利の上昇や米株安、中国経済の減速懸念などを嫌気し、大幅に下落しました。11月には米中貿易摩擦の緩和期待や米国利上げの早期打ち止め観測を背景に反発したものの、12月には中国大手通信機器メーカー幹部の拘束をきっかけとした米中対立の悪化への懸念や、米国の政府機関閉鎖などを嫌気し、再び軟調な展開となりました。しかし、2019年に入ると、米中貿易摩擦の緩和期待を受けた世界的な株式市場の回復に追随し、持ち直しています。

ベトナム・ドンは、管理変動相場制を採用しているため、対米ドルでの値動きは小幅でした。対円では、米国の利上げ打ち止め観測やリスク回避的な動きを背景に円高米ドル安が進行したため、下落しました。

図1 基準価額の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除していません（後述のファンドの費用をご覧ください）。※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

図2 ベトナムVN指数の推移



※ベトナムVN指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ファンダメンタルズが堅調な中、株式への投資妙味は増加

ベトナム経済は引き続き堅調です。インフレ率が政府目標値以下に落ち着く中、2018年の実質GDP（国内総生産）成長率は+7.08%と、世界的に見ても高水準を記録しています。

一方、株価バリュエーションは、12か月先予想PER(株価収益率)で見ると、過去5年の平均程度まで低下しています。堅調な経済環境や企業業績などを考慮すると、過去平均よりは高いバリュエーションで評価することが妥当と考えられ、投資妙味が増している状況だとみています。

上昇相場を期待させる3つのポジティブ材料

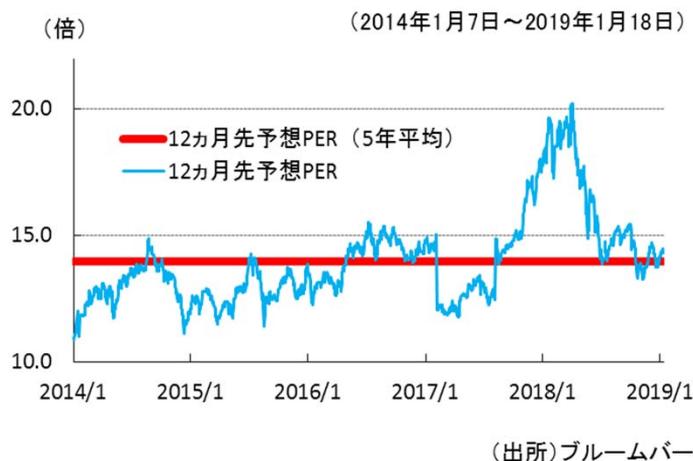
ベトナム株式市場は、外部環境に左右されやすい局面が続くと考えていますが、堅調な経済・企業業績、割安な株価バリュエーションが支援材料になるとみています。加えて、下記の3つの材料が、今後のベトナム株式市場にポジティブに寄与すると期待しています。

1つ目は、中国の代替生産地としてベトナムへの注目が一層強まっている点です。もともと安価で豊富で質の高い労働力を背景にベトナムへ生産拠点を移す傾向はありますが、昨今の米中貿易摩擦の激化に伴い、中国からのシフトが加速しています。このような動きは、ベトナム経済に恩恵をもたらすと考えています。

2つ目は、外国人持ち株比率規制の緩和・撤廃の検討です。外国人投資家のアクセスが一層改善されれば、より多くの資金流入が見込まれるなど、市場にとってポジティブです。また、MSCI指数における「フロンティア市場」から「新興市場」への格上げ期待も高まり、市場心理に好影響を与えると共に、新たな資金の呼び水になると見込まれます。

3つ目は、政府が進めている国営企業の民営化および政府保有株の放出、上場です。魅力的な上場企業が増加することは、今後もベトナム株式に対する投資家の関心を高めていくと考えています。

図3 12か月先予想PER(株価収益率)の推移



このような環境の下、当ファンドの今後の運用としましては、経済情勢や業界動向などの分析を行うとともに、個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性などを総合的に勘案してポートフォリオを構築します。

運用のポイントとしては、資産内容が改善しており、良好なベトナム経済の恩恵が期待される銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、若い人口構成や都市化の進展を背景に中長期的な成長が見込まれる消費関連セクターにも注目しています。さらには、新規上場や政府保有株の放出によって国際的な株価指数に新たに採用される可能性があるような大型銘柄にも引き続き注目していきます。

引き続きお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

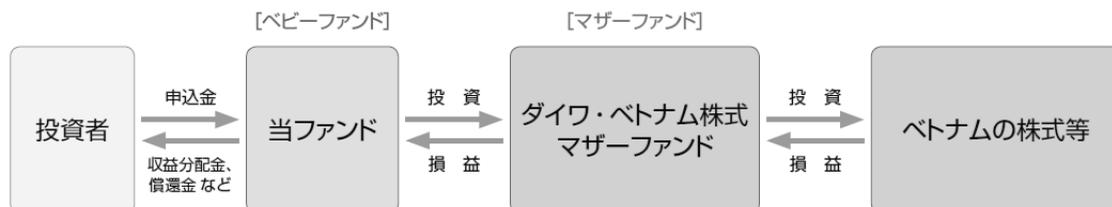
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ベトナムの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ベトナムの株式等に投資します。
※株式…DR（預託証券）を含みます。
 - ◆株式への投資にあたっては、経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。
 - ◆ベトナムの株価指数に連動するETF（上場投資信託証券）およびベトナムの株価指数の値動きに償還価格が連動する債券（株価連動債）に投資を行なう場合があります。
- ベトナムの株式等の運用は、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行ないます。
 - ◆マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。
 - ◆ベトナム株式への投資にあたっては、サイゴン証券株式会社の助言を受けます。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|----------------------------------|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%) | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率 1.7604% (税抜 1.63%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| その他の費用・ 手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ベトナム株ファンド 取扱い販売会社

| 販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名) | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第140号 | ○ | ○ | | ○ |
| 奈良証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第25号 | ○ | | | |
| 日の出証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第31号 | ○ | | | |
| ひろぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| ほくほくTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長(金商)第24号 | ○ | | | |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。